

K-らいふ

Activity Report of 2023

令和5年度 活動報告

全学
一体

- 敬宮愛子さまを奉迎、退任によせて ほか
- 令和5年度 学位記・修了証書授与式、卒業式を挙行 ほか
- 卒業生随想
- オーディエンス賞は「大学生による『大学生向けごみ分別啓発活動』」
◆令和5年度「伊勢志摩定住自立圏共生学教育プログラム」学修成果発表会 ほか
- 文科省視学官を迎え「小学校外国語教育研究会」開催
「ヘルメットのサブスク」案で、現代日本社会学科の学生が優秀賞
◆33FGビジネスプランコンテスト2023 ほか
- 教学振興会寄付者芳名、クラブ応援メッセージ募金納入状況報告
- 研究開発推進センター トピックス
- デキゴトロジー



愛子さまの伊勢訪問は平成26年7月に両陛下と参拝されて以来

敬宮愛子さまを奉迎

天皇、皇后両陛下の御長女、愛子内親王殿下が3月26日に三重県を訪問し、伊勢神宮を参拝された。御一方での地方ご訪問は今回が初めて。

本学の教職員・学生たちおよそ200名は14時40分頃、正門前の御幸道路沿道に整列。日の丸の小旗を振り、御駐泊先の鳥羽から外宮へ向かわれる殿下を奉迎した。また、16時頃、外宮から内宮へ向かわれる際、殿下はマスクをはずしておられ、にこやかに手を振ってお応えになった。



愛子さまの御用車を待つ教職員・学生たち

この日は朝から雨模様であったが、殿下の参拝時は晴れ間がのぞき、話題となった。

3月31日をもって、皇學館大学を退職し、名古屋学院大学へ移籍することとなりました。平成26年に文学部コミュニケーション学科に着任して以来、教室で何千人もの学生と共に有意義な時間を過ごしてまいりました。共通科目の「英語表現」、「皇学入門」や専門科目の「海外事情」、「日本文化史」やゼミなどを担当し、コミュニケーション



文学部教授

メイヨークリストフアー

シオン学科だけでなく、全学部の学生と交流できたことに深く感謝しております。

専任教員としての在職期間は短かったかもしれませんが、実はコミュニケーション学科が24年前に設立された際には、コミュニケーション学科主催の高校生英語スピーチコンテストに引率者として参加し、それ以来、皇學館大学との深い縁を感じてまいりました。

皇學館大学は、教職員や学生が日本の歴史・文化・精神を学んだり、研究したりしているばかりでなく、日々の活動の中で



現代日本社会学科教授 新田 均

「学問報国」の精神で

も日本のことを体現している特別な空間だと思います。このユニークな環境で教育研究に従事することができたことを誇りに思い、感謝の意を表したいと思います。

昭和63年4月に神道研究所助手を拝命して以来、令和6年3月で満36年、何とか無事に停年を迎えることが出来た。この日までに、お世話になった多くの方々に、まずは心よりの感謝を申し上げたい。

採用の際には、今は無き先生方の面接を受けた。鎌田純一先生、谷省吾先生、真弓常忠先生。これらの先生から聴かされたのは、皇學館再興の際の諸先輩方の思い、苦労、エピソードだった。ある理事は、家族を集めて、再興の資金を得るために家屋敷を抵当に入れる許しを請うた。遅配となった給料袋には、神社の賽銭箱から集められたために、1円玉が多数入っていた。

思います。専任教員としての職務を終えることになりましたが、本学で非常勤講師としてご縁が続くことを心より嬉しく思います。初日から最終日まで温かいご支援をいただき、教職員の皆様には心より感謝を申し上げます。4月以降も、引き続きご指導いただきますようお願いいたします。

日教組教育の克服を目指して教育学部を設置した際には、教育実習を受け入れてくれる学校を見つけたのが大変だった等々。近代神道を専門とする私に課せられたのは、神宮皇學館を廃校に追い込んだ「神道指令」の克服だった。神社神道と皇學館に「戦争責任」の烙印を押したこの指令の不当性を明らかにして名誉回復が出来るように、「学問報国」の精神で本館に貢献する意志があるか。それが、面接での共通の問いだった。

その期待に応えようとして執筆したのが、「近代政教関係の基礎的研究」「現人神」「国家神道」という幻想「首相が靖国参拝してどこが悪い!!」「皇位の継承」等の拙著である。幸い、今後まだ、大学院の神道学専攻で特別教授として研究を続けられることになった。期待された成果となっていないか、それを問いたがら、もう少し頑張ってみようと思っている。

令和4年度 優良教育実践

※職位は表彰時

実践教員	実践の種類	実践の名称
国史学科 准教授 谷 戸 佑 紀	●授業改善 ●方法の開発	歴史資料の効果的活用とその方法の体系化
教育学科 助教 萩 原 浩 司	●授業改善 ●アクティブ・ラーニング ●その他(学生の授業実践力向上)	授業実践力向上を目指した演習科目の取り組み ―「つばさ」における学生の課題を基に―

教職員人事

令和6年3月31日付

大学

退職

文学部「コミュニケーション学科」教授 メイヨークリストフアー

文学部神道学科 特命准教授 岩城 隆宏

現代日本社会学部現代日本社会学科 教授 新田 均

監査室室長 早川 照彦

神職養成部部長 秦 昌弘

総務部総務担当 木村 知佳

財務部管財担当 齋藤 愛美

高等学校・中学校

退職

高校副校長 田浦 雅徳

高校常勤講師 井出 宏

高校常勤講師 佐々木英人

高校常勤講師 野呂明日香

高校常勤講師 古市 野愛

中学校教諭 安道 里巳

中学校常勤講師 石田 利恵

令和5年度 新刊書籍のご案内

皇學館大学出版部

令和5年度に出版された新刊本のご紹介です。

皇位継承の儀礼
佐野真人著 定価7242円(税込)

平安時代の譲位儀式、剣璽の渡御、内侍所神鏡の奉還、高御座の由來、大嘗祭史料を分析して、これまで儀式書だけでは窺うことができなかった、儀礼の実像に迫ろうとする。

神宮御師資料 第11輯 福島大夫文書
研究開発推進センター史料編纂所編
定価2500円(税込)

神宮文庫所蔵の「福島大夫関係御師文書」の写真版と翻刻を掲載。759輯で紹介した神宮御師・福島(福島勘左衛門家関係文書の続編として、関係文書を紹介。

講演叢書 令和4年度神道博物館教養講座

近代神道史における皇學館の創立
高野裕基著 定価524円(税込)神宮皇學館の海外修学旅行
長谷川 怜著 定価524円(税込)近代教育制度と神宮皇學館
秦 昌弘著 定価524円(税込)「大神都聖地計画」と神宮皇學館の大学昇格
田浦雅徳著 定価524円(税込)

ご注文の際は、出版部ホームページ(右記のコードからアクセスできます)からお申込みください。

http://shuppan.kogakkan-u.ac.jp/



令和5年度 学位記・修了証書授与式

689名が新たな門出

令和5年度学位記・修了証書授与式が令和6年3月18日に本学記念講堂において挙行され、学部生(文学部・教育学部・現代日本社会学部)665名、大学院生7名、神道学専攻科生17名の計689名が倉田山での学生生活の思い出を胸に、それぞれの道へと旅立った。

授与式前の神宮参拝は5年ぶり

冷たい風が吹き荒れ、春の嵐となった3月18日、学位記・修了証書授与式が挙行された。

5年ぶりに授与式前の神宮参拝が実施され、艶やかな袴や凜凜しいスーツに身を包んだ学生たちは、午前8時30分、外宮表参道手水舎前に集合。外宮を正式参拝した後、内宮では御垣内参拝を行い、コロナ禍を乗り越

え無事に卒業を迎えられた喜びを奉告した。

午前11時半に始まった授与式では国歌斉唱、令旨奉読に続き、博士前期・修士課程修了者、神道学専攻科修了者、3学部卒業者の各総代が登壇し、学位記・修了証書を受け取った。続いて恩賜奨学賞、大宮司賞等の受賞者に賞状と記念品が手渡された。

「進取の気概で社会を切り拓いて」

河野訓学長は式辞で、教室での入学式や多くの制約を強いられた学生生活を振り返り、「神宮

の入学式や多くの制約を強いられた学生生活を振り返り、「神宮

参拝を行い、本記念講堂で卒業式を挙行できることは大きな慶び」と感慨を口にした。続けて「卒業してゆく皆さんは本学にとつて教育の大切な成果。一人ひとりが自分の専門を生かし、それぞれの進み分野で活躍してくれることを願っています」とエールを送った。また、何のた

大学で叶えたプロへの道

本学初のプロ野球選手(埼玉西武ライオンズ)となった村田怜音さん(教育)は「4年間、プロ野球選手をめざしてやってきて、実際に大学で叶えられてよかった」と話し、「結果が出なかった中でも4番として試合に出させていただき、経験を積むことができた」と森本進監督や野球部の仲間への感謝を口にした。今後については「まずは1年間、ケガをせずやり切ることが目標。数年後はレギュラーにな



って、チームを背負っていける選手になりたい」と抱負を語り、「三重県を離れるのは寂しい気持ちもあるが、大きくなって帰って来られたら」と笑顔で話した。

「フィールドワークと4年生での倉院祭が印象に残っている」と話す村田さん

め学びであったかの答えの一つとして令旨の「倫常ヲ厚シ、文明ヲ補ハントスル」を引用。「本学で身に付けた教育研究の方法や成果、課題解決力、人とのつながりなど、学び得たすべてを大切に、それを基盤とし、進取の気概で新しいより良い社会を切り拓いてもらいたい」と激励した。

学位記授与式後、各教室で教員免許状、階位證等の交付が行われた。また、祝賀会も5年ぶりに開催され、会場となった総合体育館メインアリーナでは記念写真を撮ったり、友人、恩師と思い出話に花を咲かせたりと、別れを惜しむ姿が見られた。

皇學館高等学校では3月1日に、皇學館中学校では同月19日に令和5年度卒業証書授与式が挙行された。

芝崎俊也学校長は式辞でコロナ禍の影響を最も受けた時期に入学し、制約の多い状況を過ごした生徒たちを「言うに言われぬ気持ちの中での学校生活であったはず」と慮った。一方で、令和5年度に高等学校創立60周年、中学校創立45周年の佳節を迎え、記念式典や合同体育大会など充実した周年記念行事を経験できたことから、「記念の年の卒業生となったことは、皆さん一人ひとりの心に留まることと思っています」と述べた。そし



答辞を読み上げる大津さん(高校)

高等学校307名、中学校25名が卒業

セミナーホールで執り行われた中学校卒業式。答辞を読み上げる山下さん



重県、日本国から世界へと学びを広げ、グローバルな感覚が身に付くように準備された、たくさんの研修や実体験を通して、自分の成長を実感させていただきました」と感謝の気持ちを述べた。そして、世界に目を向ければ戦争や災害など皆さんの不安情報があふれている中であっても、「自分の力を信じ、友を信じ、明るい



本学記念講堂で挙行された高等学校卒業式

基礎の積み重ねが大切



3年10組 深津 弘季
定期考査が受験に意味ないからと、疎かにしている人をよく見ます。本当にそうでしょうか？

僕は全く逆だと思っています。僕は高1から定期考査や朝テストの一つひとつに本気で取り組んでいました。たとえ難関大であれ、結局問われているのは定期考査レベルの簡単なことです。にもかかわらず難関大が難しいのは、毎日コツコツと基礎を積み重ねることが簡単そうでも、3年間続けられる人はほほいないからです。

僕は予備校を活用し数学ⅠAⅢは高2の6月までに、英文

法は高1の夏休み中に全て習得し、自習に多くの時間を割きました。しかし、メンタルが弱くな僕は共通テストで大失敗しました。それでも2次試験で大逆転できたのは高1から毎日欠かさず勉強し、共通テスト後も気を抜かずやり切れたことが大きな要因だと思っています。阪大出願に際し予備校の先生や親には反対されましたが、高1からの積み重ねに加え担任の先生の賛成が自信になり、何とか自分の意志を貫き、合格することができました。

僕が合格できたのは周りの方の支えや、過去問の添削を休日

も返上して毎日してくれた先生

方のおかげです。皆さんも強い

意志を持って志望校合格まで頑

張ってください。



5年ぶりに実施された授与式前の神宮参拝(上)。記念講堂に一堂に会し、厳粛に執り行われた学位記・修了証書授与式(右下)。祝賀会も開催され、恩師、学友と杯を傾け歓談を楽しむ光景が見られた(左下)

総代・各種表彰者

総代	文学研究科国文学専攻博士前期課程	楊	瑩
	教育学研究科教育学専攻修士課程	上田	虎徹
	神道学専攻科	有馬	里佳
	文学部神道学科	伊藤	大智
	文学部国文学科	正木	音羽
	文学部国史学科	野中	徹
	文学部コミュニケーション学科	三村	花菜乃
恩賜奨学賞	教育学部教育学科	磯部	智貴
	現代日本社会学部現代日本社会学科	石井	陽菜

大宮司賞	文学部国文学科	田中	佑奈
	教育学部教育学科	下村	莉奈
理事長賞	現代日本社会学部現代日本社会学科	齋藤	里穂
		森	知帆
学長賞	文学部国史学科	山下	拓海
	文学部神道学科	熊崎	響子
統理賞	神道学専攻科	長坂	貴秀
	文学部神道学科	豊田	蒼空
三重県神社庁長賞	文学部神道学科	福田	友也
	文学部神道学科	佐藤	京香
長谷奨学賞	文学部国史学科	筒井	啓仁
	文学部国史学科	小西	嘉宏
送辞	文学部国文学科	高橋	わかな
答辞			

社会福祉士養成校の養成課程修了者に対する協会表彰

現代日本社会学部現代日本社会学科 山下 諒

精神保健福祉士養成校の養成課程修了者に対する協会表彰

現代日本社会学部現代日本社会学科 中世古 剛志

保育士養成課程の卒業生に対する会長表彰

教育学部教育学科 稲垣 柚希

感謝

令和5年度卒業生より記念品を贈呈していただきました。大切に使用させていただきます。

- 皇學館大学学部生一同
- 一、ワンボックスカー 1台
- 皇學館大学神道学専攻科修了生一同
- 一、図書館ハイカウンター・椅子
- 一、書籍
- 皇學館高等学校卒業生一同
- 一、トロフィー・楯展示ケース

道を見つけた、大学生活

神道学科 鎌田 千寛

奉職先 賀茂別雷神社(上賀茂神社)



皇學館大学での4年間は一瞬で過ぎてしまった。しかし、充実した大学生活を送ることができた。

大学に入学した当初は、自分が将来何をやりたいのか見当もついていた。そんな私が神職という道に進みたいと考えた一番の理由は、雅楽部での活動だ。私は「笙」という楽器を担当していたが、入部したての頃は初めて触る楽器に悪戦苦闘しなかなかないうように演奏することができなかった。しかし、先輩方からの助言を吸収し、部員と共に毎日の地道な稽古に励んだ結果、難曲も演奏できるようになった。コロナの影響が落ち着いた頃になると外部からの演奏依頼も増えていき、神前で演奏する機会が増え、多くの人たちに喜んでいただけた。こうした活動を通して私は神様を敬い祀る大切さを知り、今後も神様にご奉仕をしたいと思い、神職になることを志した。

自分の将来を決めることができたのは、皇學館大学での生活や友人や先生方、両親の支えがあったことです。本当にありがとうございました。この道が自分に合っているか正直不安に思うが、自分で選んだ道を精いっぱい進んでいきたい。

社会へ羽ばたく力を養えた

国文学科 島田 朋葉

就職先 株式会社杏林堂薬局



コロナ禍で入学時からさまざまな制約がある中、たくさんの貴重な体験をすることができました。一つは、大学附属図書館サポーターの活動です。その活動の一環として「学生協働フェスタ」という他大学との交流会にオンラインで参加させていただきました。図書館のマスコットキャラクターが館内ツアーを行うという紹介動画は好評をいただき、とてもうれしかったです。この活動を通して、計画的に物事を進める力やリーダーシップが身についたと感じています。また、ゼミでは中古文学を専攻し、輪読や翻刻を行いました。研鑽を積む中で、古文の読解力を培い、学問を追究することの楽しさを学ぶことができました。このように豊富な体験を通して社会へと羽ばたいていける力を育むことのできる皇學館に入学できて本当に良かったです。お世話になった先生方、そしてここまで支えてくれた両親にお礼申し上げます。

培った知識と技術を糧に

国史学科 田宮 佑至

就職先 株式会社クスリのアオキ



皇學館大学で送った4年間の学生生活は、毎日が新鮮でとても充実したものでした。多くの方々の支えと導きにより、こうして卒業を迎えられたことを嬉しく思います。

先生方の丁寧なご指導のもと、勉学に励んだ時間はとても楽しく有意義なものでした。特に、論文を2本執筆する機会を頂けたことは大変光栄であり、貴重な財産となりました。また、学芸員課程を通じて、多様な経験と学びを得ることができました。これらは、これから先の未来において自身の強みとなることと思います。

さまざまな良き出会いに恵まれ、知見を深められたのは新たな興味を持つきっかけとなり、かけがえのないものでした。皇學館大学で培った知識と技術を糧に、感謝の気持ちを忘れず今後も精進してまいります。

最後になりましたが、4年間ご指導いただいた先生方、学芸員課程でお世話になった先生方に心より御礼申し上げます。

周りの人の支えに感謝

コミュニケーション学科 森本 彩水

就職先 三重県警察



私の学生生活は周りの人の支えがあって頑張ってきた。

「就活って何から始めるの?」という不安と焦りを抱きながら、2年前、就職担当の皆様へ助けを求めたのを覚えている。そこでさまざまな職種を知り、たくさん迷い、その上で警察官になりたいという思いが強くなった。面接練習では厳しくも温かいご指導をいただき、私が諦めかけたときは何度も鼓舞してくれた。周りの友人とも悩みを共有して励まし合い、一緒に前進していった。そして4月から、警察学校への入校が決まっている。

試験は最終的には一人で臨むものだが、その過程では多くの人々の力を借り、そこで初めて乗り越えられるものがあると知った。就職担当の皆さまをはじめ、友人、家族、ゼミの先生方、若桎サポーターの方々、本当にかけがえのない人たちに支えられてきた4年間であった。

ここで受けたたくさんの支えを胸に刻み、今度は私が警察官という職を通して恩返しをしていきたい。

卒業生随想

春からそれぞれの志す道を歩き始める卒業生たち。

学生生活を振り返り、彼らの胸中に去来するさまざまな思いを語ってもらった。

先生の問いが転機に

教育学科 水谷 一心

進学先 筑波大学大学院



大学に入学した当初は、周囲よりも少しだけ数学が好きだったという理由で「算数・数学教育ゼミ」を選択した。初めは「数学ができる」という漠然とした考えしか持っていなかった。しかしあるとき、ゼミの上野祐一助教の何気ない問いが私の好奇心に火をつけた。これが私の大きな転機となった。

興味を持った1つのことについて、長い時間をかけ考えることは初めての経験であり、自分が進めていることは正しいのか、形になるまで不安だった。不安の中でも、自分自身で新しい方法を発見したときや、今まで知らなかったことを知ることができたときに大きな喜びを感じた。その喜びが研究にのめり込ませた。また、日本科学教育学会で発表させていただいた際に、私自身の研究にさまざまな人が興味を持っていたことが自信になった。これらの経験から、もっと数学や数学教育について勉強がしたいと思い、大学院進学を決めた。

コロナ禍で何もなかった大学生活に、熱中できるものや、大きな目標を与えてくださったことや、目標に向けさまざまな支援をいただいた先生方、ありがとうございました。大学院ではより一層成長することができるよう励みたいと思います。

数々の挑戦がかけがえのない財産に

現代日本社会学科 金崎 和奏

就職先 株式会社リボルブ沖縄



私は大学進学と共に三重県に移住しました。コロナウイルスが流行しはじめた年に入学し、慣れない生活に苦戦しましたが、それでも4年間頑張ってきたのは周囲の人の支えがあったからだと思っています。

大学生活で印象深かったことは2つあります。1つ目は就職活動です。はじめは業界を絞らずに就職活動を進めていましたが、選考を進めるうちにIT業界に挑戦したいと考えるようになりました。未経験ながらIT系資格を取得し、SEとしての採用が決まりました。2つ目は卒業論文の執筆です。私はパレスチナ問題をテーマに決め、このテーマに関わりの深い先生のゼミを選び、フィールドワークの準備を進めてきました。社会情勢悪化のため現地へ赴くことはできませんでしたが、問題の解決を具体的に示すことで、共存の道を切り開くような論文が完成しました。

この4年間で数々の挑戦をしてきました。そのどれもがかけがえのない私の財産です。

人生で一番充実した時間

大学院修士課程教育学専攻 西 奈緒

就職先 学校法人エスコーピオス学園海星中学校・海星高等学校



皇學館大学の大学院教育学研究科教育学専攻で学ばせていただいた2年間はとても貴重な時間であり、人生の中で一番充実した時間でした。学部では、勉強と部活の両立に必死だった4年間でしたが、大学院では、勉強と研究の両立に必死だった2年間でした。大学院に進学する前は「修士論文を書くことはできるのか」「2年で何か学びとることはできるのか」「柔道部のコーチとしてやっていけるのか」と不安ばかりでした。入学後は叱られることも沢山ありましたが、それ以上に学びが多くあっという間に2年が経ちました。授業やTAをはじめ、柔道部のコーチとしての立場など、多くの経験を通して身に付けた力は大切な宝物となりました。これらの経験を生かして社会人として地域に貢献できるように努めていきます。最後に、何度も挫折そうになりましたが、背中を押して続けたいただいたおかげで最後までやり遂げることができました。ご指導くださった先生方、本当にありがとうございました。

オーディエンス賞は 大学生による「大学生向けごみ分別啓発活動」

令和5年度「伊勢志摩定住自立圏共生学教育プログラム」学修成果発表会



大学生による「大学生向けごみ分別啓発活動」メンバーの織田さん(左)と久保田さん

2月29日に令和5年度「伊勢志摩定住自立圏共生学教育プログラム」学修成果発表会が開催された。一般も含む参加者投票によるオーディエンス賞には「大学生による『大学生向けごみ分別啓発活動』」が選ばれた。

2月29日、621教室にて令和5年度「伊勢志摩定住自立圏共生学教育プログラム」学修成果発表会が行われた。

第一部「CLL活動報告会」口頭発表の部」では全28活動のうち、選抜された10活動が実践内容を発表した。最も多くの共感を集めたオーディエンス賞に選ばれたのは、令和5年度に新規で始まった「大学生による『大学生向けごみ分別啓発活動』」だ。学生4人が下宿生や寮生を対象にごみ分別不徹底の現状を変えようと立ち上がり、伊勢市ごみ減量課と協働で啓発活動の実施・提案を行っている。

メンバーの織田夢叶さん(教育3)は粗大ごみが燃えるごみとして出されたり、生ごみの水切りが不十分であったりといった実状を写真で示しながら、持続可能な循環型社会に向け「4R(リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)を意識した行動」「ごみ分別の徹底」を呼び掛けた。久保田陵さん(コミ3)は着ぐるみで行った倉陵祭での啓発活動や保育園での出前講座などについて発表した。質疑応答で「ごみ廃棄のルールが守られない要因は『知識不足』か『意識の低さ』かを問われた織田さんは両方が複雑に絡み合っていると返答。前者について自身はアプリを活用して分別の方法を徐々に身に付けていったと語った。また、今後の展開として『大学生による大学生のための啓発活動』をより積極的に行っていくと話した。

第3部では「地域志向研究発



第2部ポスターセッションでは、「インクルーシブスポーツ推進プロジェクト」がポスター賞を受賞。佐久間美沙さん(左)、青木望実さん

令和5年度 CLL 活動一覧

活動名	活動場所
1 鳥羽なかまち(仲間ち)で地域活性化に取り組もう!	鳥羽市
2 ~伊勢ぶちたび~ EVモビリティを活用市内周遊促進事業	伊勢市
3 TMKミライデザインプロジェクト(玉城町明るい未来推進プロジェクト)	玉城町
4 リニアインパクト最大化プロジェクト	伊勢市
5 ぱりっ子会議から市政への提言プロジェクト	名張市
6 えりはらのぼんやさん	志摩市
7 「広報いせ」特集記事制作プロジェクト	伊勢市
8 皇學館大学 学生広報隊	伊勢市
9 「Gift of Ise」プロデュースプロジェクト	伊勢市
10 宇治山田駅前賑わい創出事業	伊勢市
11 度会カフェリョクプロジェクト	度会町
12 若者の投票率UP! プロジェクト	伊勢市
13 農業の魅力発見! 南紀みかん援農隊プロジェクト	東紀州地域
14 産学官連携日本酒プロジェクト	明和町
15 地域活性化サポーターズFIT	伊勢市
16 The Histories of Ise 行政文化資源の利活用	伊勢市
17 いせ移住PR支援プロジェクト	伊勢市
18 だんだんお花畑プロジェクト in 玉城町	玉城町
19 みえ食の"人財"育成プラットフォーム商品開発事業	四日市市
20 ウツボで地産地消プロジェクト	南伊勢町
21 インクルーシブスポーツ推進プロジェクト	伊勢市
22 だれもが働きやすい企業を表彰! ~男女共同参画キラリ☆プロジェクト~	伊勢市
23 大学生による「大学生向けごみ分別啓発活動」	伊勢市
24 皇學館オリジナルグッズ制作プロジェクト	伊勢市
25 フードロスなくせ! いちごスイーツプロジェクト	伊勢市
26 消防団の新たな役割発見プロジェクト	伊勢市
27 廃棄する農家と廃棄するいちごをすくえ! いちごのみかたプロジェクト	伊勢市
28 CLL活動運営学生スタッフ	伊勢市

活動を通して社会人力が身に付いた 令和5年度チャレンジプロジェクト実践報告

地域との連携や学内活性化に向けた学生の活動を大学がサポートするチャレンジプロジェクト。令和5年度に採択された4件のうち、今号では「皇學館大学リトルフリーライブラリー設置プロジェクト」SDGsを食の視点から考えるプロジェクト」を紹介する。

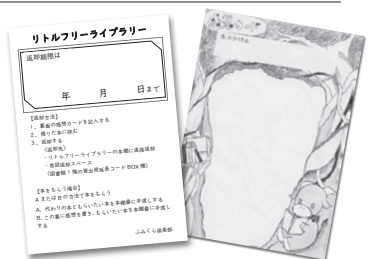
皇學館大学リトルフリーライブラリー 設置プロジェクト

誰かが本に触れた痕跡を残す

あるアメリカ人男性が地域で本を共有しようと、庭先に作った「リトルフリーライブラリー(小さな自由&無料図書館)」。現在、設置登録数は10万件を超え、非営利の運動として世界100カ国に広がっている。この運動をヒントに始まったのが「皇學館大学リトルフリーライブラリー設置プロジェクト」だ。学生・教職員が持ち寄った私物

も課題解決に向け創意工夫をしており、わくわくしながら聞かせていただいた。引き続き、期待を述べた。

*4Rとは循環型社会を形成していくための取組みである3R(Reduce+Reuse+Recycle)に「Refuse(リフューズ/断る)」を加えたもの。箸や使い捨てプラスチック、包装などを積極的に断り、購入しないことで、そもそもごみを出さないという考え方。



中村さんが考案した感想カード(表裏)。デザインは西潟史有香さん(国文3)が担当

SDGsを食の視点から考える プロジェクト

知ることから始める食品ロス削減

「SDGsを食の視点から考えるプロジェクト」では、賞味期限が近いものやパッケージの印刷ミス等で余剰になった食品を企業や団体から寄付してもらい、必要な人に配布する「学内フードパントリー」や、食べ物

を無駄にしない意識の啓発活動に取り組んでいる。

江上晃太さん(教育3)は食品ロス問題をさまざまな角度から知りたいと同プロジェクトに参加。活動する中でたくさんの方

に、「防災食はおいしくないとい

活動先では企業の社員や自治体の職員と接する機会が多く、「言葉遣いやビジネスマナーな



好評だった学内フードパントリー



余剰の食品を使い切るリメイク料理の試作

地域との連携

SDGsを食の視点から考えるプロジェクト

駒田 聡子 教授	江上 晃太(教育3)
----------	------------

- 公益社団法人日本非常食推進機構より、賞味期限が近く企業から寄付される食材の提供を受け、その食材を学内でフードパントリーなどを通じ、必要としている学生、教職員らに配布する。(随時)
- 同じく提供を受けた食材をリメイクした献立を考案する。それらを地域で食料を必要としている子どもの家庭に届けるため、子ども食堂での調理や長期休みの弁当作りを利用して提供する。(主に夏休み・春休み)
- 食料の廃棄や、有効利用の方法について知ってもらうため、主に小学生の親子を対象にした教室を開催する。
- MieMu企画展示「昔の道具展」とコラボして、食を無駄にしない知恵との提案と実技をする。(令和6年1月)
- SDGsを食の視点で考えるブログを作成し、発信を行う。(随時)

学内活性化

皇學館大学リトルフリーライブラリー設置プロジェクト

岡野 裕行 准教授	中村 始桜(国文3)
-----------	------------

今回のプロジェクトでは、本学の学生・教職員が自由に各自の私物の本を持ち寄り、お互いの本をシェアできる小さな本箱を設置することで、相互に交流を生み出すことができる機会を創出し、本を介した学内のコミュニティづくりに寄与することを目的とする。運用するにあたっては附属図書館のふみくら倶楽部のメンバーが定期的に本箱の中身を確認・整理し、安定した交流の場が形成されるように配慮していくものとする。設置場所として5号館と7号館を選択した。



大学職員のアドバイスを受け、5号館や7号館の学生ホール等に設置

どこから社会人となる自分たちにとって貴重な経験となった」とも語る江上さん。深い学びの場になっているようだ。

文科省視学官を迎え 「小学校外国語教育研究会」開催 英語教育の小中連携をテーマに



小中連携についてご講演される直山視学官

小学校外国語教育研究会 2024-3 in Mie (主催) 小学校英語教育学会三重支部・三重県小学校英語教育研究会、後援 皇學館大学・三重県教育委員会・伊勢市教育委員会・志摩市教育委員会が3月2日、本学で開催され、県内外から小・中・大の教員や行政関係者、本学の学生等、51名が参加した。

4月より小学校3年生から新課程の英語教育を受けた子供たちが初めて中学校へ入学するため、研究会のテーマは「英語教育における小中連携」であった。午前中は、志摩市並びに三重県教育委員会指導主事と本学川村一代准教授による「小中連携を図る英語教育教員研修パッケージ

ジ 三重バリエーション」昨年度小学校で英語の授業を行った中学校教諭による「中学校への円滑な接続を見据えた小学校英語の指導内容の工夫について」という実践報告があった。午後は、文部科学省直山木綿子視学官の

講演「円滑な小中連携のためにー共通点と相違点を踏まえて指導するー」があり、小中連携の重要性や具体を学習指導要領に基づき、わかりやすくお話いただいた。

5年ぶりであった。本会のスタッフや参加者の中には本学出身者があり、久しぶりに訪れた母校を懐かしむ姿も見られた。

川村一代(本学コミュニケーション学科准教授・小学校英語教育学会三重県理事・三重県小学校英語教育研究会会長)

「ヘルメットのサブスク」案で、現日の生田愛奈さん、松島朋花さんが優秀賞

33FGビジネスプランコンテスト2023

三十三フィナンシャルグループ主催の「33FGビジネスプランコンテスト」学生コースにおいて、現代日本社会学科2年の生田愛奈さん、松島朋花さんのプラン「ヘルメットのサブスクリプションサービスあなたに合った安全性とデザインをー」が優秀賞に輝いた。3月4日、四日市商工会議所で表彰式が開

催され、賞状と賞金が贈呈された。

プラン考案のきっかけは自転車に乗った高校生が車にはねられ亡くなったとのニュース。ヘルメットを着用していたら助かったかもしれないと感じ、ヘルメットを安全に使用してもらえ

白書」によると、平成25年から令和4年の自転車乗車中の死亡事故について、ヘルメット非着用時は着用時と比べ致死率が約2.4倍になることが明らかになっている。また、令和5年4月1日よりヘルメットの着用が努力義務化されたが、着用率が全国では13.5%、三重県では26.5%と低いのが実状だ。

生田さんは「現状を踏まえて課題を発見し、解決に向け深く考える力を身に付けることができ

の発表を本手にして自身のプレゼン能力を高めていきたい」松島さんは「就職活動に今回の経験を生かしていければ」と語り、実り多い体験となった。



賞状と副賞を手喜ぶ生田さん(左)と松島さん

必要性が伝わるよう論理的なデータや独創的なアイデアを取り入れた。何度も話し合い考えたことでよりよいプランになったと思う」と話した。

2人とも優秀賞に選ばれたことに驚いたようで、「アドバイスしていただいた方々に感謝の気持ちでいっぱい」と顔をほころばせた。

今後について生田さんは「表彰式で見た他の応募者の発表を本手にして自身のプレ

令和5年度 奨学金受賞者

学内奨学金授与

皇學館大学給付奨学金 (10万円)

国文学科3年 西潟史有香

コミュニケーション学科3年 平山 未菜

教育学科3年 安藤みち子

現代日本社会学科3年 中西 美樹

岡田奨学金 (10万円)

国文学科4年 正木 音羽

現代日本社会学科3年 板崎 未歩

教育学科2年 澤村 佳純

教育学専攻修士課程2年 上田 虎徹

長谷奨学金 (10万円)

国史学科4年 筒井 啓仁

神道学科3年 姉川 優妃

慶光院俊奨学金 (10万円)

国文学科4年 三宅あゆみ

神道学科3年 藤丸 向日

安部奨学金 (10万円)

神道学科4年 福田 友也

神道学科3年 中島 愛

神道学科2年 山田ひかり

神道学専攻1年 長坂 貴秀

館友会奨学金 (10万円)

神道学科3年 中川 隼

国文学科3年 渡部 倖世

国史学科3年 高殿 紗綾

コミュニケーション学科3年 上村 駿介

教育学科3年 奥森 晴香

現代日本社会学科3年 松野 笙子

専の会教育奨励賞 (図書カード3万円分)

神道学科4年 熊崎 響子

国文学科4年 下村 莉奈

国史学科4年 山下 拓海

コミュニケーション学科4年 森 麗名

教育学科4年 磯部 智貴

教育学科4年 前田 朋香

現代日本社会学科4年 石井 陽菜

神道学科3年 網岡 茉弥

国文学科3年 森岡 夢

国史学科3年 濱口 恵美

コミュニケーション学科3年 戸嶋 詩苑

教育学科3年 居森ふうか

教育学科3年 森岡 達也

現代日本社会学科3年 角谷 透哉

神道学科2年 釜本奏太郎

国文学科2年 山中 永羽

国史学科2年 間柄 詩織

学外奨学金授与

伏見稲荷大社奨学金 (24万円)

神道学科4年 豊田 蒼空

神道学科3年 久米橋幹太

神道学科2年 赤堀 寛弥

神宮特別奨学金 (20万円)

神道学科4年 鎌田 千寛

神道学科3年 鈴木 秋津

全国敬神婦人連合会奨学金 (15万円)

神道学科3年 渡部希実子

八坂神社奨学金 (10万円)

神道学専攻修士前期課程2年 水谷 恭子

令和5年度 学長奨励賞

団体の部

柔道部 全日本学生柔道優勝大会(男子72kg級)出場(6/24)

全日本学生柔道団体重別優勝大会(男子25kg級)出場(10/21)

個人の部

松平 瑠子(国文4)

第39回読売書法展 漢字部門で秀逸賞

中川 陽司(教育1)

第39回U20日本陸上競技選手権大会・混成競技出場3位(6/10)

本木 靖剛(教育4)

全日本学生柔道体重別選手権大会出場(9/30・10/1)

山村 隆斗(教育4)

全日本学生柔道体重別選手権大会出場(9/30・10/1)

澤田 大輝(現日4)

全日本学生柔道体重別選手権大会出場(9/30・10/1)

島 健輔(現日4)

全日本学生柔道体重別選手権大会出場(9/30・10/1)

瀧川 力(現日4)

全日本学生柔道体重別選手権大会出場(9/30・10/1)

金山 剛史(教育3)

全日本学生柔道体重別選手権大会出場(9/30・10/1)

若谷 怜(教育2)

全日本学生柔道体重別選手権大会出場(9/30・10/1)

南 大志(現日2)

全日本学生柔道体重別選手権大会出場(9/30・10/1)

令和5年度 春季フィールドワーク日程一覧

学科	引率教員	日程	目的地・方面
コミ	張 磊	2/26(月)~2/29(木)	北海道
国内教育	萩原浩司 渡邊賢二	2/24(土)~2/27(火)	九州(福岡・長崎)
	吉田明弘 吉田直樹 豊住 誠	2/24(土)~2/27(火)	沖縄
	加藤 純一	2/25(日)~2/27(火)	九州(福岡・長崎)
	中條敦仁 野々垣明子	2/25(日)~2/29(木)	九州(福岡・長崎・佐賀)
	上野祐一 小川真由子	2/26(月)~2/28(水)	沖縄
	井上兼一 渡邊 毅	2/26(月)~2/29(木)	広島・岡山
	土谷長子	2/29(木)~3/2(土)	沖縄
	片山靖富 叶 俊文	3/5(火)~3/8(金)	北海道
海外教育	大杉成喜 高橋摩衣子 駒田聡子	2/24(土)~2/27(火)	韓国(ソウル特別市・京畿道義王市)
	佐藤武尊	3/4(月)~3/8(金)	タイ(バンコク)

研究開発推進センター トピックス

平成25年に発足して以来、研究の成果を発信し、地域の知の拠点としての役割にかかわる「研究開発推進センター」。
令和5年度の活動を報告します。

神道研究所

「神道史から見た明治維新」―公開学術講演会

歴史学者・宗教学者で、神道史・国学史研究をご専門とする國學院大學神道文化学部の武田秀章教授を講師に迎え、公開学術講演会「神道史から見た明治維新」が令和5年7月6日、本学4号館431教室で開催され、37人が参加した。



講演中の武田秀章教授

武田氏は、鳥取藩出身の国学者門脇重縁について、門脇家資料を中心に用い、福羽美静らと

たと述べ、祭政一致の実現が重縁の若年以後の課題であったと講じた。

この講演の内容は、『皇學館大学研究開発推進センター紀要』第11号に収録予定である。

「澤瀉久孝の万葉学と周辺」―公開学術シンポジウム

学園報99号で既報の通り、公開学術シンポジウム「澤瀉久孝の万葉学と周辺」が令和5年12月16日、本学神道博物館講義室で開催され、30人が参加した。

過程を説明するために、今回のシンポジウムでは、調査過程で確認した史料の紹介と、澤瀉久孝の万葉学とその周辺に関する研究報告が行われた。

〔国学者の万葉研究と詠歌〕、齋藤平（本学副学長・教授）（澤瀉久孝と新村出）
なお、報告の内容は、『皇學館大学研究開発推進センター紀要』第11号に収録予定である。



古代律令研究の貴重な史料となる「神祇令」が68年ぶりに発見された
澤瀉久孝の万葉学とその周辺

佐川記念神道博物館

教養講座「伊勢御師の家伝資料を紐解く―橋村一族のすべて―」を開催

神道博物館教養講座は、一般の方を対象とした生涯学習のための講座である。令和5年度は伊勢御師橋村大夫関係資料をテーマとして、4名の講師により以下のとおり開催した。

第1回 5月27日
「足代弘訓と橋村正克」
講師 浦野 綾子
皇學館大学研究開発推進センター准教授・学芸員

第2回 6月17日
「橋村家と檀家の近代―参宮人帳を手がかりに―」
講師 谷口 裕信
皇學館大学文学部教授

第3回 10月21日
ギャラリートーク

「ある伊勢御師の軌跡―新発見・橋村家伝来資料から―」
講師 小林 郁
皇學館大学研究開発推進センター助教・学芸員

第4回 11月18日
「伊勢の石仏・石塔」
講師 竹田 憲治
皇學館大学非常勤講師

夏休み親子教室

夏休み親子教室は、日本の伝統・郷土の文化に関する体験を通して、子ども達に日本人の感性や心を学んでもらうことを目的としている。昨年度より佐川記念神道博物館学芸員監修のも

と、本学の学芸員課程履修生が企画・運営をしている。令和5年度は「立版古を作ろう」(7月30日)、「和本ノートを作ろう」(8月4日)の2企画を1日ずつ開催。伊勢市内の小中学生とその保護者、53組128名にご参加いただいた。(詳細は学園報第97号)



「立版古を作ろう」の様子

企画展「ある伊勢御師の軌跡―新発見・橋村家伝来資料から―」

企画展「ある伊勢御師の軌跡―新発見・橋村家伝来資料から―」



展示風景

「」が令和5年10月2日、11月30日に開催された。中世・近世における熱狂的な伊勢参宮ブームを牽引した「伊勢御師」の姿は、現存する多くの歴史資料から読み解くことができる。本展では、代々神宮権禰宜を務め、約31万軒の檀家を擁する御師でもあった橋村一族について、近年新たに発見された膨大な家伝資料を

史料編纂所

古文書講座と公開講座が好評

一挙公開し、「お伊勢参り」の立役者である伊勢御師の実態や、御師制度廃止以降の橋村一族の動向について紹介した。

史料編纂所では、例年通り、一般市民の方々に編纂所の事業内容を知っていただくために、古文書講座と公開講座を実施しております。令和5年度は、7月と9月に谷戸佑紀准教授(文学部国史学科)を、10月と12月には小林郁助教(研究開発推進センター)をそれぞれ講師に迎え、中近世の御師関係の文書についてお話しいただきました。古文書の一字一字の解説に熱心に取り組み組んでおられる聴講生の方々が印象的でした。

また、9月には恒例の公開講座を開催し、荊木美行教授(史料編纂所)が「古代の志摩国」という演題で、正倉院文書の「志摩国輪廓帳」について講演しました。こちらは、令和6年度で停年を迎える荊木教授の、最終講義でした。

また、史料編纂所では、編年史料集や古文書の翻刻に取り組んでおりますが、5年度は、第1部門の成果として、「日本後紀



内宮御師の古文書について話す谷戸佑紀准教授

朝見神社所蔵分・福島信吾氏所蔵分を活性化してまいりましたが、今回神宮文庫所蔵のものを翻刻したことによって、関係文書の翻刻はすべて完了しました。これによって、中世以来の福嶋(福島)御塩焼大夫の活動を把握できるようになったことは、御師研究にとっては大きな福音ではないかと思えます。

『日本後紀史料』は先に完結した『続日本紀史料』全20巻22冊につぐ大事業で、8年後に控えた創立150周年の記念の年までに完成することを目標に掲げ、関係者は日夜努力いたしております。今後とも大方のご支援を乞う次第です。

学生が出土品の洗浄作業 宇治おはらい町の歴史の一端が明らかに

皇學館大学考古学研究会

令和6年2月21日、本学考古学研究会に所属する学生が株式会社湊の敷地内にある宇治会合所(江戸時代における宇治の自治組織の役所)跡の発掘調査で出土した遺物の洗浄作業にあたった。



洗浄作業後は復元に掛かる

これは、皇大神宮(内宮)の鳥居前町として発展してきた宇治おはらい町の歴史を明らかにしようと、同研究会が令和4年から同5年にかけて3回にわたって行ってきた学術発掘調査の一環。研究会を率いる



洗浄作業に没頭する学生たち

岡田登本学名誉教授は慶光院邸敷地内「常慶院跡」、百五銀行内宮前支店改築現場「中川新神主邸跡」今回の「宇治会合所跡」の調査によって、宇治の町は下流域から宇治橋前の上流域へと埋め立てによって開発が進んできたことがわかったと語る。さらに「宇治会合所跡」では約130枚に及ぶ銅銭が出土したことから、「三重県下においてこれだけの狭い範囲で大量に出てくるのは特異。埋め立てにあたり、土地の神様を鎮めるために撒いたのではないか」と推測した。

発掘作業から参加している若林祥吾さん(国史2)は「出土品に焼け跡がないので地震など天災によって割れたものではなく、意図的に壊して埋めた説が有力」と語り、「掘る

のも楽しいが、接合する土器片を見つけて復元する作業も好き。一つひとつ、掘った成果が形になっていくのがうれしい」と話した。岡田教授は「将来学芸員をめざす学生にとって、こうした経験を積んでいるかどうか大きな差となる。埋蔵品は本来博物館のガラスケースの中に展示され、見ることはあっても触れることはできない。発掘調査や洗浄作業を体験した学生は埋められていた場所や状態から仮説を立てたり、出土品の重さや手触りを実際に肌で感じたりして、貴重な学びの機会になったはず」と話した。

令和5年度 デキゴトロジ― 行事日誌

大 学

4月	4日	入学式 新入生歓迎会 新入生対象防災訓練、地震体験 春学期通常講義開始(7月31日 通常講義終了)
5月	30日	神道学会総会、国文学会総会、史学会総会、コミュニケーション学会総会、教育学会総会 現代日本学会総会 創立記念日
6月	4日	クルーズ開始(10月31日)
7月	3日	クラフ応援メッセージ募金授与式 夏の会総会・教育懇談会
8月	2日	高松奨励賞授与式、学生会任命式 佐川記念神道博物館(三展覧会)久瀬家の五月(6月24日)
9月	1日	四日市市熱年大学(古代伊勢の神話と伝承) 橋本雅之(神道 教授) 神道博物館教養講座(足代弘訓と橋本正克) 浦野綾子(研究開発推進センター 准教授) オンライン配信 1/29(2/11)
10月	1日	月例文化講座①(最近の選挙をめぐる諸問題) 富永健(現日・教授) オンライン配信 6/23 特別奨学生・特待生奨励会 オンラインキャンパス 海外インターンシップマレシアフロクラム説明会 月例神宮参拝 神道博物館教養講座②(橋村家と檀家の近代―参宮人帳を手がかりに―) 谷口裕信(国史・教授) オンライン配信 2/12(2/25) 三重県生涯学習センター×皇學館大学 連携協定事業講座 (後援宮御鎮座100周年について) 坂井正幸(神道・教授・長谷川怜(国史 准教授・千種清美(本学 非常勤講師) 神職課程履修者 現任神職講話(神職の使命と神社事務心得―知・信行に―) 高山亨氏(乃木神社 名誉宮司) 藤崎一郎氏(元在アメリカ合衆国特命全權大使) 第70回現代日本塾(変わる米国 変わる中国) 全日本学生柔道優勝大会(男子72回 男子7人制出場) 25日 チャレンジプロジェクト公開プレゼン 神道博物館学生展示①「皇學館大学祭 倉慶祭の記録」、②「宇治橋と人々」伊勢参宮名所図会からの成り立ち」 7月12日
11月	1日	夏越大祓式 月例文化講座②(地域で輝く若者たち) 藤井恭子(現日・准教授) オンライン配信 7/21 神道研究所公開学術講演会 神道史から見た明治維新 武田秀章氏(國學院大学 教授) オープンキャンパス 神道博物館学生展示③「食べられた資料たち」文化財害虫の被害と対策」④「神棚まつりの神具類展」折りある暮らしとお伊勢さんの御礼」 7月26日 史料編纂所古文書講座第1回(近世文書を読む―内宮御師の古文書①―) 谷戸佑紀(国史・准教授) 第71回現代日本塾(公務員2次試験対策講座ガイダンス) 外山公美氏(ライオンヤマ学園ハリウッド大学院大学 教授 NPO法人政策マネジメント研究所 理事長) 第72回現代日本塾(さあ、どうする?) 西村重哉氏(一般社団法人未来の大人応援プロジェクトシニアアドバイザー) 月例文化講座③(伝統文化教育の再建―大和魂の復興へ―) 岩崎正彌(現日・准教授) オンライン配信 8/18 神道博物館 夏休み親子教室(立版古を作ろう)
12月	30日	神道研究所 夏休み子ども講座 ①(ヤマトヒメのおはなし)佐野真人(研究開発推進センター 准教授) ②(皇室について)塩川哲朗(研究開発推進センター 准教授) 神道博物館 夏休み親子教室(和紙のしるしを作ろう) カナタ・ヨウ(大学夏期講習学研修 28日) 第51回階位検定講習会(正階・修正階・直階) 9月15日 心游舎ワークショップ オープンキャンパス 11日 夏の会地区別教育懇談会(津・大阪会場) みえアカデミックセミナー2023「地域で育つ 地域が育つ」主体的に活動する学生事例から」藤井恭子(現日・准教授)(三重県文化会館) 夏の会地区別教育懇談会(浜松・福岡会場)

9月	2日	夏の会地区別教育懇談会(伊勢会場) 夏の会地区別教育懇談会(名古屋会場) フリーワーク 14日
3日	3日	月例文化講座④(アフターコロナの地域交通を考える) 笠原正嗣(現日・教授) オンライン配信 9/29
4日	4日	史料編纂所公開講座 古代の志摩国―神亀六年志摩国輪廓帳からわかること― 荻本美行(研究開発推進センター 教授) 遠藤慶太(国史・教授) (名張市役所) 皇學館大学ふるさと講座(伊賀の古墳と交通路―美旗古墳群を考える―) みえアカデミックセミナー2023移動講座 (鈴鹿に魅了された皇子―古事記「日本書紀」からみたヤマトケル―) 荻本美行(研究開発推進センター 教授) (鈴鹿市立旭が丘公民館) 9月学位記授与式(卒業式) 史料編纂所古文書講座第2回(近世文書を読む―内宮御師の古文書②―) 谷戸佑紀(国史・准教授) 秋学期通常講義開始(令和6年1月27日 通常講義終了) 皇學館DAY(進学相談会・学び体験 皇學館高等学校吹奏楽部第16回定期演奏会) (三重県総合文化センター 三重県総合博物館) 第73回現代日本塾(現役警察官に聞く「三重県警のお仕事」) 金森司氏(三重県警察本部 警部補) 全日本学生柔道団体重別選手権大会出場 10月1日
10月	1日	みえアカデミックセミナー2023移動講座(熊野古道伊勢路の中世石造物)岡野友彦(国史・教授) (尾鷲市立中央公民館) 保護者対象就職講演会・説明会 神道博物館企画展(ある伊勢御師の軌跡―新発見 橋村家伝来資料から―) 11月30日 第74回現代日本塾(文章読解・作成能力検定の今日的意義と価値) 百々岳夫氏(公益財団法人日本漢字能力検定協会 高等教育領域部長) 月例文化講座⑤(財産管理のサポート―日常生活自立支援事業と成年後見制度―)鶴田憲晴(現日・教授) オンライン配信 10/27 第35回出雲全日本大学選抜競走 出場 地震防災訓練 第100回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会出場 史料編纂所古文書講座第3回(中近世文書を読む―中近世御師文書の世界①―)小林郁(研究開発推進センター 助教) 初穂祭 神宮祭 神道博物館教養講座③(ギョウリートーク「ある伊勢御師の軌跡―新発見 橋村家伝来資料から―」) 小林郁(研究開発推進センター 助教) オンライン配信 2/26(3/10) 全日本学生柔道団体重別団体優勝大会出場 22日 2023ドラフト会議 村田裕哉選手 埼玉西武ライオンズ6位指名 クラフ応援メッセージ募金授与式 三重県生涯学習センター×皇學館大学 NIPPONの原点を学ぶ「三重の魅力発信セミナー」(海と山)の熊野古道―人はなぜ山路を歩いたのか―多田實道(国史・教授) (三重県庁) 国文学会研究発表会
11月	1日	山室山参拝 参拝見学 学生寮主催教育講演会(令旨・教育勅諭そして憲法) 新田均(現日 教授) 神道博物館みえミュージアムセミナー (初公開)伊勢御師の家伝資料「橋村一族の軌跡」 小林郁(研究開発推進センター 助教) 史学會講演会(室町殿と管領―足利義満と細川頼之・斯波義将―) 森茂曉氏(福岡大学 名誉教授) コミュニケーション学会講演会(ChangPTとは何か?―生成AIの魅力と可能性に迫る―) 森田賢太氏(鈴鹿医療科学大学医学部 助教) 教育学会講演会(ひろみちとたにぞう) 現代日本学会記念講演会「地域社会世界を変えるのはあなた!」若者や学生が地域と関わる価値と可能性 森正美氏(京都文教大学 学長) 月例文化講座⑥(日本の外交安全保障と中国 ロシア、北朝鮮―我が国の平和と独立を守り抜くために―) 村上政俊(現日・准教授) オンライン配信 12/1 教育学会講演会(長期育成指針/グランドデザイン) 石井孝法氏(全日本柔道連盟強化委員会科学部研究部他) 神道学・神道学会共催講演会(見るの禁止と罪意識について) 北山修氏(白鶴大学 学長) 国文学会講演会(西鶴ベストセラーの原点) 篠原進氏(青山学院大学 名誉教授) 神職課程履修者 就職指導「千年後の日本のために」 (神社の森の現状と未来) 小林仁氏(アホシヤン 頭領) (神職の役割と麻 新田均(現日 教授) 月例神宮参拝 コミュニケーション学科主催 第24回高校生英語スピーチコンテスト(動画審査 結果発表
12月	1日	神道博物館教養講座④(伊勢の石仏・石塔) 竹田憲治(本学 非常勤講師) オンライン配信 3/11(24) 第1回公務員関連講座(公安調査庁の業務について) 近畿公安調査局

12月	18日	神道博物館教養講座④(伊勢の石仏・石塔) 竹田憲治(本学 非常勤講師) オンライン配信 3/11(24) 第1回公務員関連講座(公安調査庁の業務について) 近畿公安調査局
1月	1日	第2回くるま座講座(出版部の仕事って?) 下中郁氏(株式会社平凡社 会長・富澤凡子氏(柏書房株式会社 社長) 月例文化講座⑦(政府の「骨太方針」と地方の活性化) 新田均(現日 教授) オンライン配信 12/22 第1回よんぶんセミナー「皇學館大学公開講座(四日市ゆかりの神社を知る 海山道神社) 海山道神社の歴史と祭りを語る」 岡田登(本学名誉教授) 第75回現代日本塾(社会福祉専門職の就職先について―公務員から一般企業まで広がる選択―) 選抜校 助教 田村根章氏(福山女子大学人間関係学部人間関係学科 助教) 明和町×皇學館大学 地域連携協働公開講座(古文書・古記録から読み解く郷土の歴史―江戸時代の明和町―) 谷戸佑紀(国史・准教授) 研究開発推進センター「神道研究所公開学術シンポジウム 澤瀉久孝の万葉集とその周辺」 橋本雅之(神道・教授) 大島信生(国文・教授) 齋藤平(国文・教授) 田中康二(国文・教授) 史料編纂所古文書講座第4回(中近世文書を読む―中近世御師文書の世界②―) 小林郁(研究開発推進センター 助教) 大祓式 第2回公務員関連講座(若手国家公務員のホンネトーク) 吉田尚太郎氏(法曹有資格者)
2月	1日	学長年頭講話 学生会任命式 学内奨学金授与式 大学入学共通テスト 14日 史学會講演会(レコードで聴く 満州) 長谷川怜(国史・准教授) 夏の会役員会 出寮式
3月	1日	神職課程履修者 就職指導 能楽師大倉正之助氏他 能楽演奏・演奏体験 ニューランド・ウィカト大学春期講習学研修 3月3日 第2回よんぶんセミナー「皇學館大学公開講座(四日市ゆかりの神社を知る 島田神社 鶴森神社) 四日市の式内社と古代の神祇祭祀」 佐野真人(研究開発推進センター 准教授) 建国記念の日 神宮参拝 第52回階位検定講習会(権階位 直階) 3月14日 皇學館大学ふるさと講座(天正伊賀の乱と伊賀の中世城館) 竹田憲治(本学 非常勤講師) 第10回「伊勢」と日本スタディプログラム 3月7日 フィールドワーク 3月2日 マレーシア・アジアパンフィック大学春期講習学研修 3月24日 伊勢志摩定住自立圏共生学教育プログラム学修成果発表会
4月	1日	コミュニケーション学科主催 第5回英語発信力コンテスト結果発表 第3回よんぶんセミナー「皇學館大学公開講座(四日市ゆかりの神社を知る 講談社) 近現代の神社とまちづくり」 板井正幸(神道・教授) チャレンジプロジェクト報告会 学長奨励賞授与式 学位記・修了証書授与式 オープンキャンパス 入寮式 新入生登学日
5月	1日	コミュニケーション学科主催 第5回英語発信力コンテスト結果発表 第3回よんぶんセミナー「皇學館大学公開講座(四日市ゆかりの神社を知る 講談社) 近現代の神社とまちづくり」 板井正幸(神道・教授) チャレンジプロジェクト報告会 学長奨励賞授与式 学位記・修了証書授与式 オープンキャンパス 入寮式 新入生登学日
6月	1日	コミュニケーション学科主催 第5回英語発信力コンテスト結果発表 第3回よんぶんセミナー「皇學館大学公開講座(四日市ゆかりの神社を知る 講談社) 近現代の神社とまちづくり」 板井正幸(神道・教授) チャレンジプロジェクト報告会 学長奨励賞授与式 学位記・修了証書授与式 オープンキャンパス 入寮式 新入生登学日
7月	1日	コミュニケーション学科主催 第5回英語発信力コンテスト結果発表 第3回よんぶんセミナー「皇學館大学公開講座(四日市ゆかりの神社を知る 講談社) 近現代の神社とまちづくり」 板井正幸(神道・教授) チャレンジプロジェクト報告会 学長奨励賞授与式 学位記・修了証書授与式 オープンキャンパス 入寮式 新入生登学日
8月	1日	コミュニケーション学科主催 第5回英語発信力コンテスト結果発表 第3回よんぶんセミナー「皇學館大学公開講座(四日市ゆかりの神社を知る 講談社) 近現代の神社とまちづくり」 板井正幸(神道・教授) チャレンジプロジェクト報告会 学長奨励賞授与式 学位記・修了証書授与式 オープンキャンパス 入寮式 新入生登学日
9月	1日	コミュニケーション学科主催 第5回英語発信力コンテスト結果発表 第3回よんぶんセミナー「皇學館大学公開講座(四日市ゆかりの神社を知る 講談社) 近現代の神社とまちづくり」 板井正幸(神道・教授) チャレンジプロジェクト報告会 学長奨励賞授与式 学位記・修了証書授与式 オープンキャンパス 入寮式 新入生登学日
10月	1日	コミュニケーション学科主催 第5回英語発信力コンテスト結果発表 第3回よんぶんセミナー「皇學館大学公開講座(四日市ゆかりの神社を知る 講談社) 近現代の神社とまちづくり」 板井正幸(神道・教授) チャレンジプロジェクト報告会 学長奨励賞授与式 学位記・修了証書授与式 オープンキャンパス 入寮式 新入生登学日
11月	1日	コミュニケーション学科主催 第5回英語発信力コンテスト結果発表 第3回よんぶんセミナー「皇學館大学公開講座(四日市ゆかりの神社を知る 講談社) 近現代の神社とまちづくり」 板井正幸(神道・教授) チャレンジプロジェクト報告会 学長奨励賞授与式 学位記・修了証書授与式 オープンキャンパス 入寮式 新入生登学日
12月	1日	コミュニケーション学科主催 第5回英語発信力コンテスト結果発表 第3回よんぶんセミナー「皇學館大学公開講座(四日市ゆかりの神社を知る 講談社) 近現代の神社とまちづくり」 板井正幸(神道・教授) チャレンジプロジェクト報告会 学長奨励賞授与式 学位記・修了証書授与式 オープンキャンパス 入寮式 新入生登学日

12月	1日	コミュニケーション学科主催 第5回英語発信力コンテスト結果発表 第3回よんぶんセミナー「皇學館大学公開講座(四日市ゆかりの神社を知る 講談社) 近現代の神社とまちづくり」 板井正幸(神道・教授) チャレンジプロジェクト報告会 学長奨励賞授与式 学位記・修了証書授与式 オープンキャンパス 入寮式 新入生登学日
1月	1日	コミュニケーション学科主催 第5回英語発信力コンテスト結果発表 第3回よんぶんセミナー「皇學館大学公開講座(四日市ゆかりの神社を知る 講談社) 近現代の神社とまちづくり」 板井正幸(神道・教授) チャレンジプロジェクト報告会 学長奨励賞授与式 学位記・修了証書授与式 オープンキャンパス 入寮式 新入生登学日
2月	1日	コミュニケーション学科主催 第5回英語発信力コンテスト結果発表 第3回よんぶんセミナー「皇學館大学公開講座(四日市ゆかりの神社を知る 講談社) 近現代の神社とまちづくり」 板井正幸(神道・教授) チャレンジプロジェクト報告会 学長奨励賞授与式 学位記・修了証書授与式 オープンキャンパス 入寮式 新入生登学日
3月	1日	コミュニケーション学科主催 第5回英語発信力コンテスト結果発表 第3回よんぶんセミナー「皇學館大学公開講座(四日市ゆかりの神社を知る 講談社) 近現代の神社とまちづくり」 板井正幸(神道・教授) チャレンジプロジェクト報告会 学長奨励賞授与式 学位記・修了証書授与式 オープンキャンパス 入寮式 新入生登学日
4月	1日	コミュニケーション学科主催 第5回英語発信力コンテスト結果発表 第3回よんぶんセミナー「皇學館大学公開講座(四日市ゆかりの神社を知る 講談社) 近現代の神社とまちづくり」 板井正幸(神道・教授) チャレンジプロジェクト報告会 学長奨励賞授与式 学位記・修了証書授与式 オープンキャンパス 入寮式 新入生登学日
5月	1日	コミュニケーション学科主催 第5回英語発信力コンテスト結果発表 第3回よんぶんセミナー「皇學館大学公開講座(四日市ゆかりの神社を知る 講談社) 近現代の神社とまちづくり」 板井正幸(神道・教授) チャレンジプロジェクト報告会 学長奨励賞授与式 学位記・修了証書授与式 オープンキャンパス 入寮式 新入生登学日
6月	1日	コミュニケーション学科主催 第5回英語発信力コンテスト結果発表 第3回よんぶんセミナー「皇學館大学公開講座(四日市ゆかりの神社を知る 講談社) 近現代の神社とまちづくり」 板井正幸(神道・教授) チャレンジプロジェクト報告会 学長奨励賞授与式 学位記・修了証書授与式 オープンキャンパス 入寮式 新入生登学日
7月	1日	コミュニケーション学科主催 第5回英語発信力コンテスト結果発表 第3回よんぶんセミナー「皇學館大学公開講座(四日市ゆかりの神社を知る 講談社) 近現代の神社とまちづくり」 板井正幸(神道・教授) チャレンジプロジェクト報告会 学長奨励賞授与式 学位記・修了証書授与式 オープンキャンパス 入寮式 新入生登学日
8月	1日	コミュニケーション学科主催 第5回英語発信力コンテスト結果発表 第3回よんぶんセミナー「皇學館大学公開講座(四日市ゆかりの神社を知る 講談社) 近現代の神社とまちづくり」 板井正幸(神道・教授) チャレンジプロジェクト報告会 学長奨励賞授与式 学位記・修了証書授与式 オープンキャンパス 入寮式 新入生登学日
9月	1日	コミュニケーション学科主催 第5回英語発信力コンテスト結果発表 第3回よんぶんセミナー「皇學館大学公開講座(四日市ゆかりの神社を知る 講談社) 近現代の神社とまちづくり」 板井正幸(神道・教授) チャレンジプロジェクト報告会 学長奨励賞授与式 学位記・修了証書授与式 オープンキャンパス 入寮式 新入生登学日
10月	1日	コミュニケーション学科主催 第5回英語発信力コンテスト結果発表 第3回よんぶんセミナー「皇學館大学公開講座(四日市ゆかりの神社を知る 講談社) 近現代の神社とまちづくり」 板井正幸(神道・教授) チャレンジプロジェクト報告会 学長奨励賞授与式 学位記・修了証書授与式 オープンキャンパス 入寮式 新入生登学日
11月	1日	コミュニケーション学科主催 第5回英語発信力コンテスト結果発表 第3回よんぶんセミナー「皇學館大学公開講座(四日市ゆかりの神社を知る 講談社) 近現代の神社とまちづくり」 板井正幸(神道・教授) チャレンジプロジェクト報告会 学長奨励賞授与式 学位記・修了証書授与式 オープンキャンパス 入寮式 新入生登学日
12月	1日	コミュニケーション学科主催 第5回英語発信力コンテスト結果発表 第3回よんぶんセミナー「皇學館大学公開講座(四日市ゆかりの神社を知る 講談社) 近現代の神社とまちづくり」 板井正幸(神道・教授) チャレンジプロジェクト報告会 学長奨励賞授与式 学位記・修了証書授与式 オープンキャンパス 入寮式 新入生登学日